I·O DATA

キャプチャボックス

GV-MDVD

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

149032-02

使ってみよう 25

WinDVD Creator 2の操作 ２６

DVDを作ろう ２７

HDDに録画し、DVDを作る..... ２８

DVDに直接録画する..... ３６

スタートアップウィザード..... ４１

ノイズ除去について ４６

ノイズ除去画面を表示する..... ４６

項目説明..... ４７

困った時には 49

付録 55

サポートソフトの削除 ５６

ドライバの削除..... ５６

WinDVD Creator 2の削除..... ５７

サービス品のソフトウェア..... ５８

入っているソフトウェア..... ５８

インストール方法..... ５８

仕様 ５９

お問い合わせ..... ６０

修理について..... ６２

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	GV-MDVD
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System

※ 本書内のOSは、全て日本語版を指します。

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

パソコンから抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクターやケーブルを間違えると、パソコンやケーブルから発煙したり火災の原因になります。

本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

注意

定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

禁止

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

禁止

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本製品のコネクターには触れないでください。

コネクターに触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

はじめに

箱の中には……8

動作環境……10

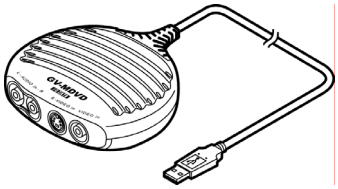
各部の名称・機能……13

使用上のご注意……14

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまで
ご連絡ください。

□ **キャプチャボックス(1台)**［ケーブル長さ：約1.8m］



□ **GV-MDVDサポートソフト(1枚)**［CD-ROM］

・ドライバ
・WinDVD Creator 2
・WinDVD Creator 2 ユーザーズマニュアル
・Adobe Reader 6.0

☑ **GV-MDVD 取扱説明書（1冊）**［本書］

□ **ハードウェア保証書(1枚)**

シリアル番号をメモしてください

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

※ シリアル番号は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号は、ユーザー登録・ダウンロードの際に必要です。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●ダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/

参考

箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

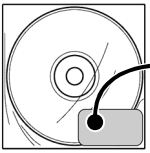
WinDVD Creator 2について

【サービス品のソフトウェア】(58ページ)をご覧ください。

注意

WinDVD Creator 2のシリアル番号について

WinDVD Creator 2のシリアル番号がサポートソフトのケースに記載されています。
インストールやユーザー登録に必要ですので、紛失しないように大切に保管してください。
下の欄にメモすることをおすすめします。



シリアル番号

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応 OS

対応機種	DOS/Vマシン※1
対応OS※2	Windows XP, Windows 2000
CPU※3	Intel Celeron 800MHz以上 (Pentium 4 1.6GHz以上を推奨※4)
メモリー	128Mバイト以上 (256Mバイト以上を推奨※4)
ハードディスク	100Mバイト以上の空き容量※5
グラフィック アクセラレーター※6	解像度：1024×768ドット以上 画面の色：24ビットフルカラー DirectX：DirectX 8.1に対応※7
サウンド	48kHzステレオ再生およびDirectSoundに対応したサウンドカードが必要 (PCI接続を推奨)
CD/DVDドライブ	インストール時：CD-ROMドライブ CD-R/RWへの書き込み：CD-R/RWドライブ DVDへの書き込み：DVD-R/RW, DVD-RAM, DVD+R/RWドライブ
USBポート	USB 2.0※8またはUSB 1.1※9ポートが１つ必要

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2 デュアルブート環境には対応していません。

※3 デュアルCPU (ハイパースレッディング機能は除く) 構成のパソコンには対応していません。

※4 ダイレクトレコーディングを行う場合は、これらの推奨環境以上でお使いください。

※5 7200rpm以上のハードディスクを推奨します。
録画保存用に、別途空き容量が必要です。

※6 Windowsグラフィックアクセラレーターの種類やVRAMの容量によって表示条件(解像度、色数、リフレッシュレートなど)が制限される場合があります。

※7 WinDVD Creator 2インストール時、DirectXのバージョンが古い場合は、DirectX 8.1がインストールされます。
※8 下記の【USB 2.0機器としての動作条件】をご覧ください。
※9 NEC製のOHCI（Open Host Controller Interface）を搭載した機種、およびUSBインターフェイス（弊社製USB-PCI等）で使用することはできません。
USB 1.1機器としてお使いになる場合、WinDVD Creator 2のプロファイルは、LP(長時間再生)モードのみ対応となります。

他のUSB機器を同時に使わないでください
本製品の転送速度が遅くなることがあります。

USB 2.0機器としての動作条件
Microsoft社の提供するUSB 2.0ドライバがインストールされていること。

Microsoft社の提供するUSB 2.0ドライバのインストール
弊社Webページで弊社製「CBUSB2」「WN-B11/CBU2」を例としたご案内をしております。下記アドレスをご覧ください。

http://www.iodata.jp/support/advice/usb20/index.htm

他製品の詳しい説明については、パソコンメーカー様もしくはインターフェイス製品メーカー様にご確認ください。

USB 2.0ホストコントローラーとUSB 2.0ドライバの確認
【確認しよう】(21ページ)でご確認ください。

USBハブやUSB延長ケーブルに本製品を接続する場合
本製品を使えないことがあります。その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

他のキャプチャ製品との併用はできません
他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

これらの本項条件を満たす環境であっても、グラフィックアクセラレーターやハードディスクなどの性能により、コマ落ち等が発生する場合があります。

接続できる映像機器

接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはSビデオケーブル、またはコンポジットケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器
・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器

参考

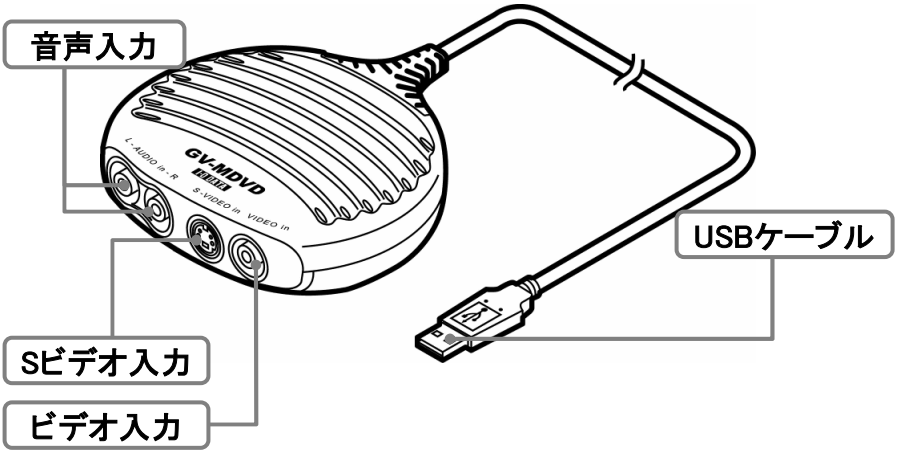
映像機器との接続について
「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

注意

・一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
・著作権保護（コピーガード）信号が含まれた映像（DVDソフトなど）は録画できません
・実際の入力映像より、数秒遅れて表示される場合があります
あらかじめご了承ください。

各部の名称・機能

コネクターなどの名前と機能を説明します。



ビデオ入力	映像機器からの映像を入力します。
Sビデオ入力	
音声入力	映像機器からの音声を入力します。
USBケーブル	パソコンと接続します。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクターを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、
コネクターを持って取り外してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本製品で作成されたDVDビデオは、DVDプレーヤーの機種によっては正常に再生できないことがあります。

●書き換え型メディアの再生は、DVDレコーダー／プレーヤーが各フォーマットに対応している必要があります。DVDビデオフォーマットで出力されたDVD-RAMメディアは、パソコンでのみ再生が可能です。

使えるようにしよう

ドライバをインストールしよう…… 16
↓
接続しよう…… 17
↓
確認しよう…… 21
↓
ソフトウェアをインストールしよう…… 23
↓
これで準備は完了です

ドライバをインストールしよう

ドライバのインストールをします。

参考

Windowsにログオンするときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

注意

まだ本製品を接続しないでください

【接続しよう】(17ページ)で接続します。

1 GV-MDVDサポートソフトを挿入します。

⇒メニューが表示されます。

参考

メニューが表示されない

①「マイコンピュータ」を開きます。

②［GVMDVD］→［SETUP］の順にダブルクリックします。

⇒メニューが表示されます。

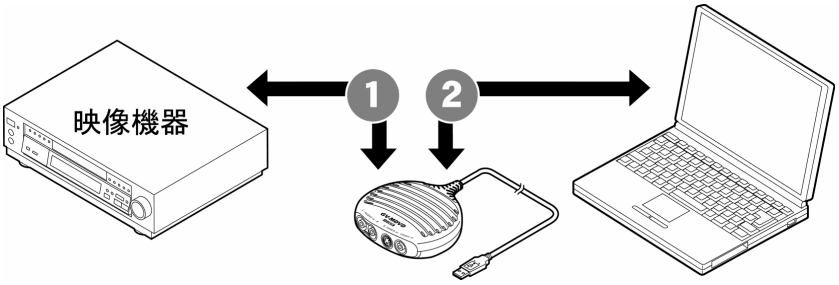
2 ［GV-MDVDドライバ］をクリックします。

⇒インストール画面が表示されます。

画面の指示に従ってインストールしてください。

接続しよう

本製品を接続する手順を説明します。



参考

作業する前に

本製品には「Sビデオケーブル」や「オーディオケーブル」などは添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器について

本製品には、映像機器に対して入力を持っています。
映像機器は、本製品に映像を入力するための機器(ビデオデッキなど)を指します。

映像機器との接続について

「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

あらかじめご了承ください。

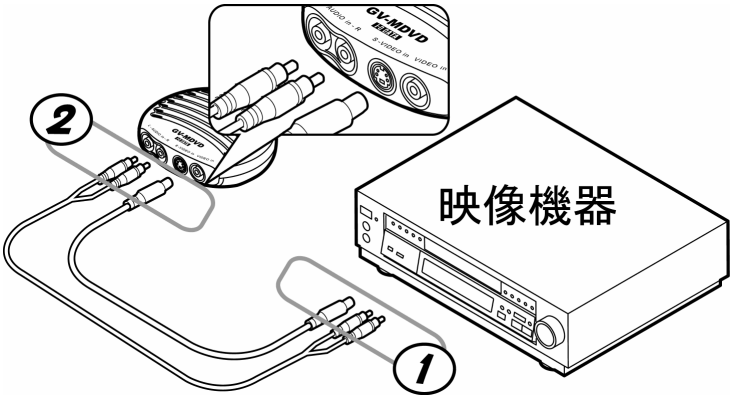
1 映像機器との接続

1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 本製品にケーブルを接続します。

・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。



参考

Sビデオで接続できない場合

「ビデオ入力」に「コンポジットケーブル」を接続することもできます。
ただし、Sビデオケーブルを使って接続した方が鮮明に表示されます。

2 パソコンとの接続

参考

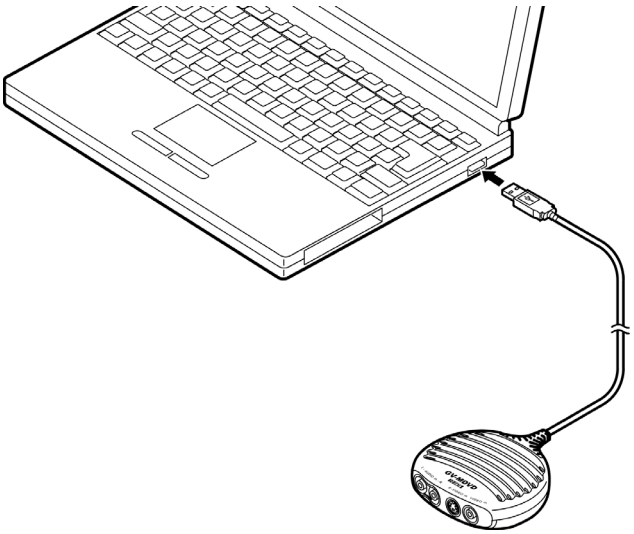
Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 Windowsを起動します。

2 サポートソフトが取り出されていることを確認します。

3 パソコンに本製品を接続します。

本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
⇒本製品がWindowsに認識され、認識画面が表示されます。



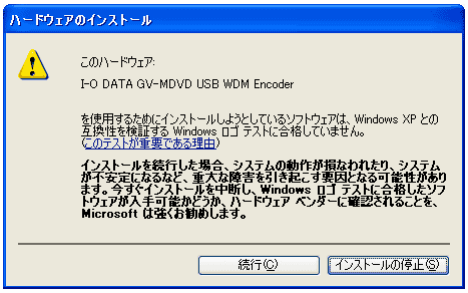
4 画面の指示に従って、インストールを行います。

参考

下のような画面が、環境によって1～2回表示されます

［続行］ボタンまたは［はい］ボタンをクリックしてください。
⇒インストールが続行されます。

これは、マイクロソフト株式会社がWHQLという組織において、パソコンや周辺機器などを対象に認定手続きを実施しているものです。
本製品は、認定を受けておりませんが、問題なくお使いいただけます。



確認しよう

本製品を正しく使える状態になっているかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XPの場合

① ［スタート］ボタンをクリックします。
② 表示された［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000の場合

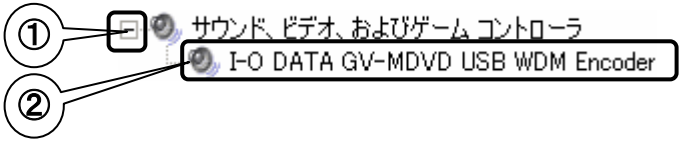
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

① ［ハードウェア］タブをクリックします。
② ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 本製品を確認します。

① ［サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ］の左にある⊞をクリックします。
② 本製品のドライバを確認します。



本製品のドライバがない

【本製品のドライバが表示されない】(50ページ)をご覧ください。

4 USB 2.0で使えるかを確認します。

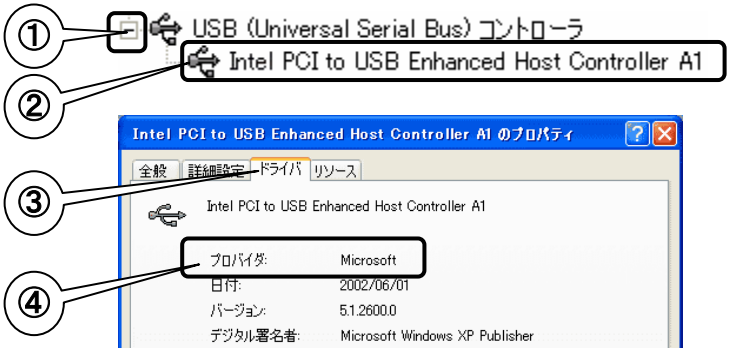
※ USB 1.1機器としてお使いの場合は、次にお進みください。

① [USB(Universal Serial Bus)コントローラ] の左にある⊞をクリックします。

② USB 2.0ホストコントローラのドライバを右クリックし、表示された [プロパティ] をクリックします。

③ [ドライバ] タブをクリックします。

④「プロバイダ」が「Microsoft」かを確認します。



参考

USB 2.0ホストコントローラを見分ける

名前に「USB Enhanced Host Controller」または「USB エンハンスドホストコントローラ」を含みます。

注意

USB 2.0ホストコントローラのドライバがない

USB 2.0インターフェイスがないか、正しくインストールされていません。

「プロバイダ」が「Microsoft」ではない、または正しくインストールされていない場合

【Microsoft社の提供するUSB 2.0ドライバのインストール】(11ページ)をご覧ください。

5 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

ソフトウェアをインストールしよう

ソフトウェアのインストールをします。

参考

Windowsにログオンするときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 GV-MDVDサポートソフトを挿入します。

⇒メニューが表示されます。

参考

メニューが表示されない

①「マイコンピュータ」を開きます。

②［GVMDVD］→［SETUP］の順にダブルクリックします。

2 [WinDVD Creator 2 for GV-MDVD]をクリックします。

⇒「WinDVD Creator 2」のインストールが始まります。

画面の指示に従ってインストールしてください。

インストール後、Windowsの再起動を要求されます。

クリック

参考

インストール途中でシリアル番号を確認されます

【WinDVD Creator 2のシリアル番号について】(9ページ)をご覧になり、シリアル番号を入力してください。

Memo

使ってみよう

WinDVD Creator 2の操作 …… 26

DVDを作ろう …… 27

スタートアップウィザード …… 41

ノイズ除去について …… 46

WinDVD Creator 2のサポート

WinDVD Creator 2は、サービス品につき弊社ではサポート致しかねます。
インタービデオジャパン株式会社にお問い合わせください。

【WinDVD Creator 2について】(60ページ)

WinDVD Creator 2の操作

WinDVD Creator 2では、様々な機能を利用できます。
詳しくは、ヘルプやユーザーズマニュアルにて案内されています。
そちらをご覧の上、WinDVD Creator 2をご活用ください。

参考

WinDVD Creator 2を使うときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでWindowsにログオンしてください。

WinDVD Creator 2についてのお問い合わせ

WinDVD Creator 2はサービス品です。
弊社でのサポートは行えません。
WinDVD Creator 2についてのお問い合わせは、60ページをご覧ください。

表示方法

● ヘルプの表示方法

［ヘルプ］メニューでヘルプを表示できます。

● ユーザーズマニュアルの表示方法

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［InterVideo WinDVD Creator 2］→［PDFマニュアル］をご覧ください。

DVDを作ろう

DVDを作る作業例を２通り紹介します。

● HDDに録画し、DVDを作る……28ページ

・録画した映像を編集してから、DVDを作ることができます。
・同じ内容のDVDを何枚も作るのに向いています。

● DVDに直接録画する……36ページ

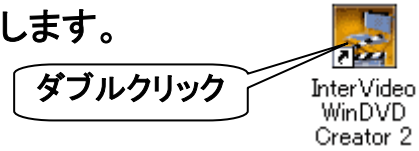
・ハードディスクに録画しないため、ハードディスクの空き容量を気にする必要がありません。
・短時間で手軽にDVDを作ることができます。
・より高性能な動作環境を必要とします。
もう一度、【動作環境】(10ページ)をご覧ください。

作業中はこまめにプロジェクトを保存してください

プロジェクトが保存されていれば、なにか問題があったときに保存した状態に戻って、作業を再開できます。

HDD に録画し、DVD を作る

1 WinDVD Creator 2を起動します。



2 [ビデオをハードディスクにキャプチャー]をクリックします。

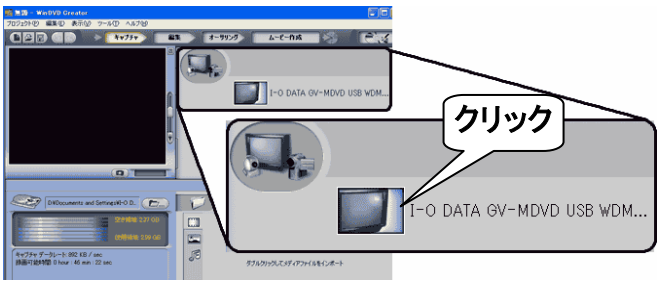
⇒キャプチャ画面が表示されます。

参考

初めての場合、スタートアップウィザードが表示されます

【スタートアップウィザード】(41ページ)をご覧ください。

下の画面が表示されたら・・・



3 画質を設定します。

① ボタンをクリックします。

② DVDの「プロファイル」を設定します。

画質	解像度	平均ビットレート	DVD保存可能時間
DVD HQ	720×480	7.2Mbps	約60分
DVD GQ	720×480	6.5Mbps	約80分
DVD SP	352×480	3.6Mbps	約120分
DVD LP	352×480	3.0Mbps	約150分

※ DVD保存可能時間は目安です。映像によって増減します。

注意

USB 1.1でお使いの場合

［DVD LP］に設定してください。

4 映像を送ります。

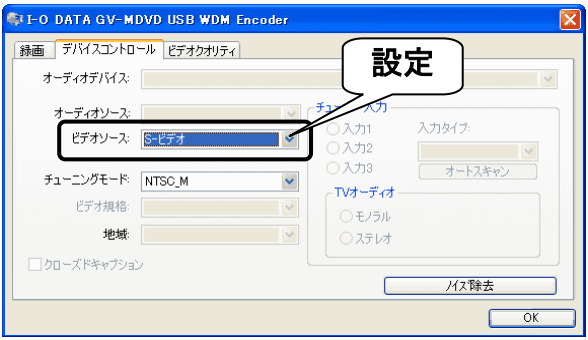
接続した映像機器の電源を入れ、本製品に映像を送ります。ビデオなどの場合は、再生を行ってください。

参考

映像が表示されない場合

本製品と映像機器の接続をご確認ください。
それで表示されない場合は、下の作業を行ってください。

① ボタンをクリックします。
② ［デバイスコントロール］タブをクリックします。
③「ビデオソース」を、映像機器が接続されたコネクターと合わせます。



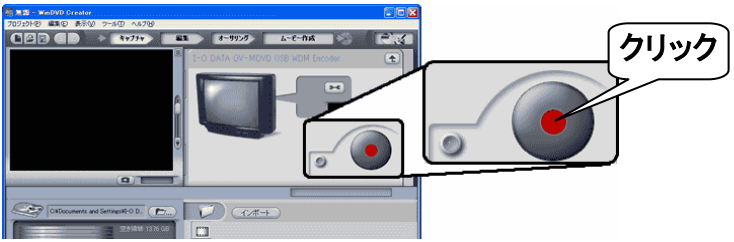
④ ［OK］ボタンをクリックします。

ノイズ除去について

【ノイズ除去について】(46ページ)をご覧ください。

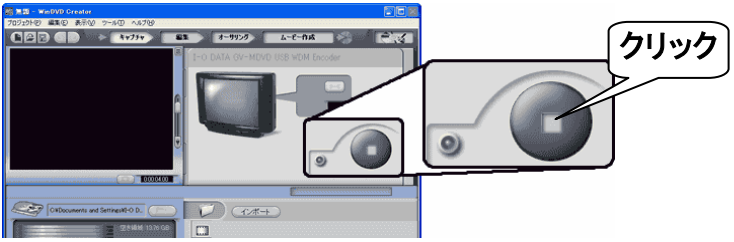
5 録画ボタンをクリックします。

⇒録画が開始されます。
　録画ボタンが停止ボタンに変化します。



6 録画を終了する際は、停止ボタンをクリックします。

⇒録画が終了されます。
　自動的に録画ファイルが登録されます。



参考

複数のビデオを録画する場合

手順4からの作業を繰り返してください。

7 編集ボタンをクリックします。

⇒編集画面が表示されます。

8 録画ファイルを登録します。

DVDに記録したい順に、録画ファイルをドラッグ＆ドロップします。

参考

ドラッグ＆ドロップ

アイテムを左クリックしたまま目的地まで移動し、そこでマウスボタンをはなすこと。

編集画面について

編集画面では、動画ファイルの編集作業を行えます。
この手順では動画ファイルの登録のみを行っています。
編集について詳しく知りたい場合は、ヘルプかオンラインマニュアルをご覧ください。

9 オーサリングボタンをクリックします。

⇒オーサリング画面が表示されます。

10 メニューの設定を行います。

ここではメニューについてのいろいろな設定を行えます。詳しくは、ヘルプかオンラインマニュアルをご覧ください。

11 ムービー作成ボタンをクリックします。

⇒ムービー作成画面が表示されます。

12 DVDの設定を行います。

①「ディスクのボリュームラベル」に、ディスクの名前を入力します。
ここで入力された内容が、Windowsで表示されます。
②「ムービーのサイズ」をご覧になり、ディスクの容量が足りているかを確認します。
③ ボタンをクリックします。

13 書き込み先を選びます。

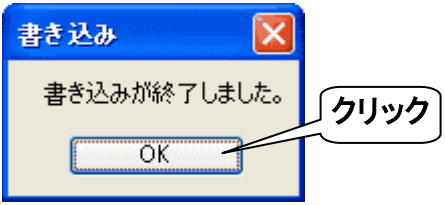
①「ディスクへ書き込み」を選びます。
② ボタンをクリックします。
⇒書き込みが開始されます。

14 書き込みの経過が表示されます。

時間がかかります。
その間、パソコンで他の作業をしないようにご注意ください。

15「書き込みが終了しました。」と表示されます。

［OK］ボタンをクリックします。
⇒DVDが自動的に取り出されます。
DVDを作る作業は完了しました。



参考

あとで同じDVDを作りたい場合

WinDVD Creator 2を終了するときに、「無題への変更を保存しますか？」と表示されたら、［はい］ボタンをクリックし、データを保存してください。

DVD に直接録画する

参考

対応DVDメディア
書き換え可能なDVDメディア（DVD±RW, DVD-RAM）をお使いください。

1 WinDVD Creator 2を起動します。

2 録画するDVDメディアをドライブに入れます。

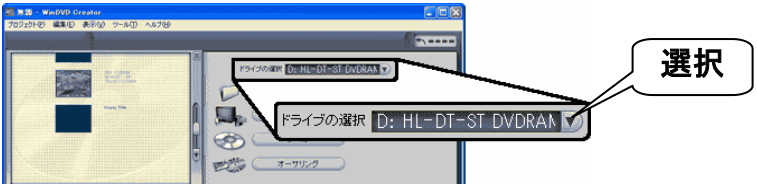
3 [DVDディスクに直接ビデオをキャプチャする]をクリックします。

⇒ダイレクトレコーディング画面が表示されます。

参考

初めての場合、スタートアップウィザードが表示されます
【スタートアップウィザード】(41ページ)をご覧ください。

4 DVDメディアの入ったドライブを選びます。



参考

DVDメディアによっては、フォーマットを要求されます

下の画面が表示された場合、［はい］ボタンをクリックし、手順 **7** へお進みください。

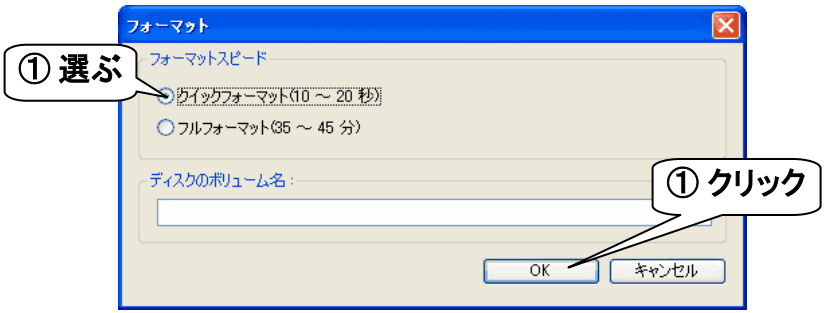
5 ［ツール］ボタンをクリックします。

6 ［フォーマット］ボタンをクリックします。

⇒フォーマット画面が表示されます。

7 クイックフォーマットします。

①［クイックフォーマット］を選びます。
②［OK］ボタンをクリックします。
⇒DVDメディアがフォーマットされます。



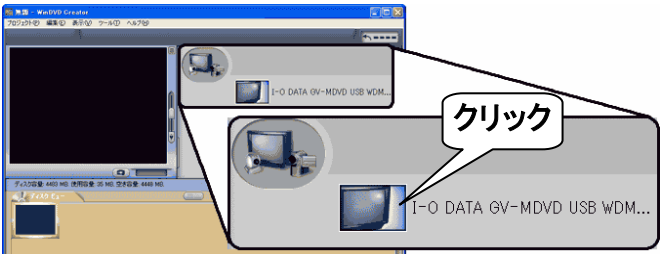
DVDメディア内の全てのデータは消えてしまいます
フォーマットの前に、お使いのDVDメディア内に大事なデータがないかをご確認ください。

クイックフォーマットできない場合
［フルフォーマット］を行ってください。

8 ［キャプチャ］ボタンをクリックします。

参考

下の画面が表示されたら・・・



9 映像を送ります。

接続した映像機器の電源を入れ、本製品に映像を送ります。ビデオなどの場合は、再生を行ってください。

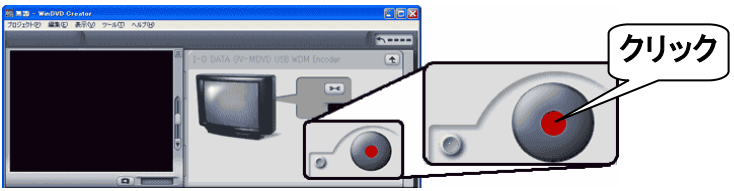
参考

映像が表示されない場合

【映像が表示されない場合】(30ページ)をご覧ください。

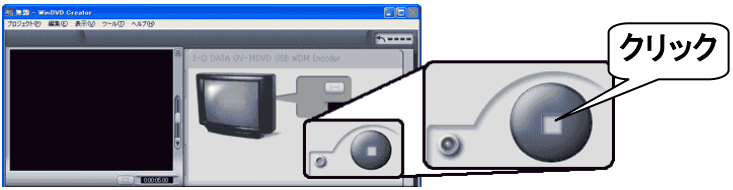
10 録画ボタンをクリックします。

⇒録画が開始されます。
録画ボタンが停止ボタンに変化します。



11 録画を終了する際は、停止ボタンをクリックします。

⇒録画が終了されます。
自動的に録画ファイルが登録されます。



参考

複数のビデオを録画する場合

手順9からの作業を繰り返してください。

メニューの設定(DVD+RWの場合のみ)

DVDメディアがDVD+RWの場合は、メニューの設定を行えます。
詳しくは、ヘルプやユーザーズマニュアルをご覧ください。

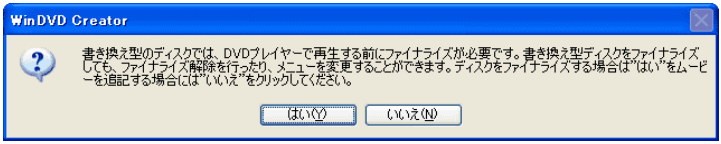
12 ⏏ ボタンをクリックします。

⇒DVDメディアが取り出されます。
DVDへの直接録画が完了しました。

参考

ファイナライズの設定(DVD-RWの場合のみ)

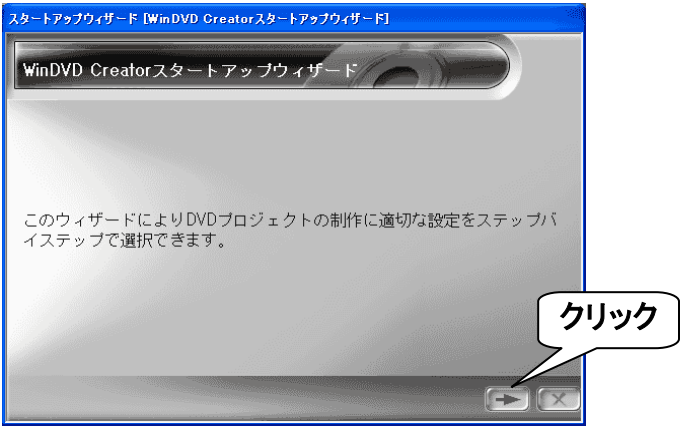
DVDプレーヤーで再生を行うには、ファイナライズが必要です。
DVD-RWをお使いの場合は、下の画面が表示され、ファイナライズを行うかを確認されます。
通常、ファイナライズには35～45分かかります。



スタートアップウィザード

初めて起動すると、スタートアップウィザードが表示されます。

1 ボタンをクリックします。



2 ファイルフォーマットを設定します。

① [NTSC] が設定されていることを確認します。

② 使うオーディオフォーマットを選びます。

[MPEG Audio]

MPEG Audioでオーディオを圧縮記録できます。

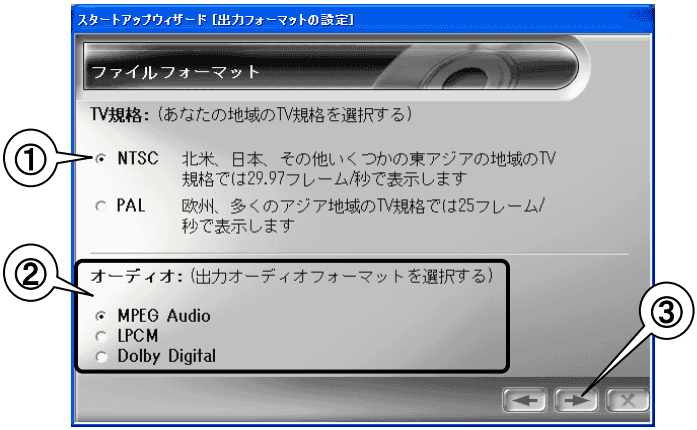
[LPCM]

LPCM(リニアPCM)では、圧縮を行わず、高い音声品質で記録できます。

[Dolby Digital]

Dolby Digitalエンコーダにより、高い圧縮率で、高品質オーディオ(2ch)の長時間録画が可能です。

③ ボタンをクリックします。



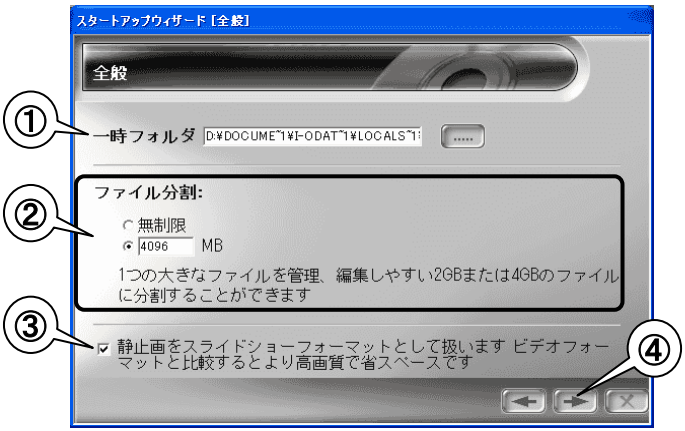
3 全般を設定します。

①「一時フォルダ」を設定します。
「一時フォルダ」は作業用ファイルが置かれる場所です。
空き容量の多いハードディスクを選んでください。

② ファイル分割をするかどうかを設定します。

③ 静止画をスライドショーフォーマットとして扱うかどうかを設定します。

④ ボタンをクリックします。



4 ダイレクトレコーディングの設定をします。

① ファイル出力の画質を設定します。

画質	解像度	平均ビットレート	DVD保存可能時間
DVD HQ	720×480	7.2Mbps	約60分
DVD GQ	720×480	6.5Mbps	約80分
DVD SP	352×480	3.6Mbps	約120分
DVD LP	352×480	3.0Mbps	約150分

※ DVD保存可能時間は目安です。映像によって増減します。

注意

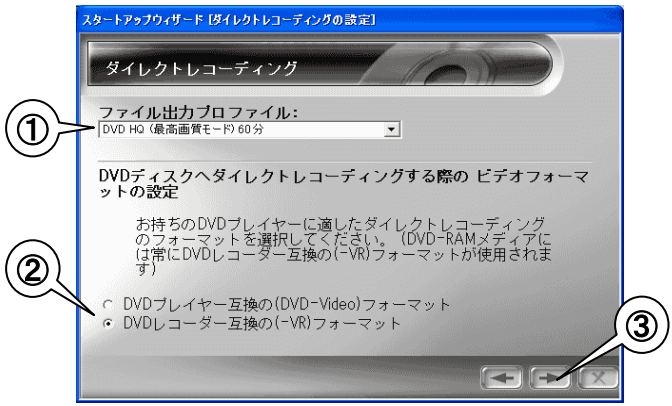
USB 1.1でお使いの場合
［DVD LP］に設定してください。

② ビデオフォーマットを選びます。

［DVDプレイヤー互換の(DVD-Video)フォーマット］
DVD-Videoフォーマットで録画します。DVDプレーヤーと互換性のあるフォーマットですが、このフォーマットで記録すると編集が行えません。

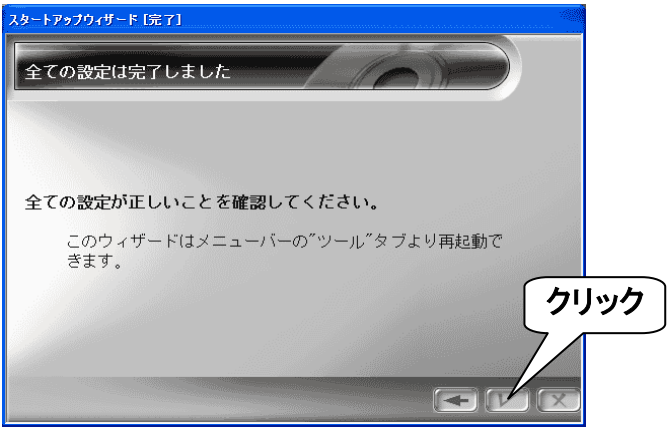
［DVDレコーダー互換の(-VR)フォーマット］
DVD-Videoレコーダーで利用されるDVD-VRフォーマットで録画します。DVDレコーダーと互換性のあるフォーマットで、記録されたディスクはディスクマネージャモードで編集することができます。

③ ボタンをクリックします。



5 **ボタンをクリックします。**

⇒スタートアップウィザードが完了されます。



WinDVD Creator 2の初期設定は完了しました。

ノイズ除去について

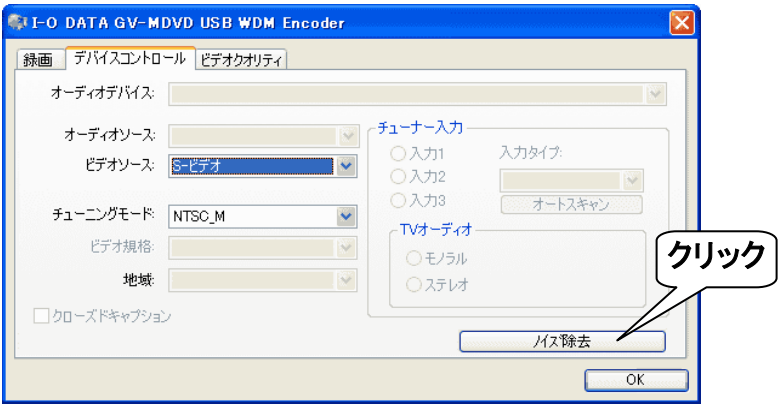
ノイズ除去の設定を行います。
よく分からない場合は、初期の設定のままお使いください。

ノイズ除去画面を表示する

1 キャプチャ画面で、 ボタンをクリックします。

2 [デバイスコントロール]タブをクリックします。

3 [ノイズ除去]ボタンをクリックします。
⇒ノイズ除去画面が表示されます。



項目説明

項目		説明
空間軸	**輝度タイプ**	映像信号に含まれる輝度情報に関するノイズの除去方法を設定します。 無効 . . . . . このノイズ除去は行いません。 水平軸のみ . . . . 水平軸のデータを利用して判定し、このノイズ除去を行います。 垂直軸のみ . . . . 垂直軸のデータを利用して判定し、このノイズ除去を行います。 水平／垂直軸 . . 水平軸と垂直軸のデータを利用して判定し、このノイズ除去を行います。
	色差タイプ	映像信号に含まれる色差情報に関するノイズの除去方法を設定します。 無効 . . . . . このノイズ除去は行いません。 水平軸のみ . . . . 水平軸のデータを利用して判定し、このノイズ除去を行います。
	手動/自動設定	ノイズ除去の強弱を手動/自動で設定します。
時間軸	**手動/自動設定**	ノイズ除去の強弱を手動/自動で設定します。
初期設定ボタン		初期設定に戻します。

Memo

困った時には

本製品のドライバが表示されない…… ５０
録画したものを再生すると、音声と映像がずれる… ５０
音が聞こえない、録音されない…… ５１
プレビュー時に、画面が乱れたり、
停止したり、音声と映像がずれる…… ５２
Windows Media Playerで再生できない…… ５２
録画できない…… ５３
Windows MessengerやNetMeetingなどで
本製品を使えない…… ５３
他のキャプチャソフトで本製品を使えない…… ５３
・画面の端に、白や黒の帯状の物が見える
・画面下部に、数ミリのちらつきが見える…… ５４

WinDVD Creator 2についての困った時には

ヘルプやユーザーズマニュアル、Webページにある製品別FAQ
(http://www.intervideo.co.jp/support/s_faq.html)
をご覧ください。

本製品のドライバが表示されない

原因 1 **接続に問題がある**

【接続しよう】(17ページ)をご覧になり、本製品の接続をご確認ください。

原因 2 **本製品が正しく認識されていない**

【ドライバをインストールしよう】(16ページ)をご覧になり、ドライバをインストールします。

録画したものを再生すると、音声と映像がずれる

原因 1 **パソコンに負荷がかかっている**

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因 2 **画質が高すぎる**

高すぎる画質は、パソコンに負荷をかけます。WinDVD Creator 2の画質設定を下げてください。

音が聞こえない、録音されない

原因 1 ボリュームが小さい、消音になっている

① WinDVD Creator 2のボリュームを確認してください。

② Windowsのボリュームを確認してください。

※「メイン」だけでなく「ボリュームコントロール」「WAVE」などの設定も確認してください。
また「ミュート」にチェックが付いていたら、外してください。

③ 本製品に接続した映像機器やスピーカーのボリュームを確認してください。

原因 2 音声コードの接続が正しくない

【映像機器との接続】(18ページ)をご覧になり、音声コードの接続を確認してください。

原因 3 スピーカーがつながっていない

パソコンとスピーカーがつながっているかを確認してください。

原因 4 サウンドデバイスが正しく設定されていない

サウンドデバイスの取扱説明書をご覧になり、正しく設定されているかを確認してください。

プレビュー時に、画面が乱れたり、停止したり、音声と映像がずれる

原因 1 **グラフィック環境に問題がある**

グラフィックのドライバを最新にしてください。また、Windowsの色数や解像度を落としてください。

原因 2 **パソコンの機能を最大限に使っている**

作業中はパソコンの機能を最大限使用します。そのため、プレビューが正しく表示されないことがあります。
録画ファイルは正しく記録されます。

原因 3 **映像機器からの映像が乱れている**

「早送り」「早戻し」「砂嵐放送」などの乱れた映像を入力した場合、プレビューが正しく表示されなかったり、録画が停止することがあります。

Windows Media Player で再生できない

原因 **複数のCODECがインストールされている**

本製品に添付されているソフトウェア以外のMPEG-2関連ソフトウェアを削除してください。

録画できない

原因 1 **コピー防止信号が含まれている**

著作権保護機能が入っている映像は録画できません。

原因 2 **ハードディスクの空き容量が足りない**

不要なファイルを削除するなどして、空き容量を作ってください。

Windows Messenger や NetMeeting などで本製品を使えない

原因 **対応していない**

本製品は、Windows MessengerやNetMeetingなどのアプリケーションには対応していません。

他のキャプチャソフトで本製品を使えない

原因 **本製品をキャプチャデバイスとして利用できない**

本製品は、Windows上でキャプチャデバイスとして利用できません。
WinDVD Creator 2をお使いください。

・画面の端に、白や黒の帯状の物が見える
・画面下部に、数ミリのちらつきが見える

原因 **映像信号内の情報部分が表示されている**

ビデオキャプチャ製品では、映像信号を全て表示するため、このようなことが起こる場合があります。

付録

サポートソフトの削除…… 56

サービス品のソフトウェア …… 58

仕様 …… 59

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。

参考

Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

ドライバの削除

1 **GV-MDVDサポートソフトを挿入します。**
⇒メニューが表示されます。

参考

メニューが表示されない
①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVMDVD］→［SETUP］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。

2 **［GV-MDVDドライバ］をクリックします。**
⇒インストール画面が表示されますので、［アンインストール］を選んで
［OK］ボタンをクリックしてください。
ドライバのアンインストールが始まります。

参考

本製品を取り外す場合
アンインストールが終わったら、本製品を取り外してください。

WinDVD Creator 2 の削除

1 削除のための画面を開きます。

① コントロールパネルを開きます。
［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］の順にクリックします。
②［プログラム（アプリケーション）の追加と削除］をダブルクリックします。

2 [InterVideo WinDVD Creator 2]を選び、削除します。

①［InterVideo WinDVD Creator 2］を選びます。
②［変更と削除］または［追加と削除］ボタンをクリックします。
⇒InterVideo WinDVD Creator 2の削除が開始されます。
画面の指示に従って削除してください。

サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

入っているソフトウェア

- **WinDVD Creator 2**

  WinDVD Creator 2は複雑な使い方を覚えずに、オリジナルDVD制作が可能です。
  編集、タイトルの挿入、トランジション、オーディオの挿入、DVDメニュー作成 を４つのステップで実現、DVD（またはVCD,SVCD)への書込過程をこれ１本で実現できます。入力された映像を視聴・録画するためのアプリケーションです。
  また、録画した映像の編集やDVDオーサリングも行えます。

インストール方法

サポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

仕様

ビデオ	入力映像方式	NTSC
	映像調整	明るさ、コントラスト、色相、彩度、 シャープネス、鮮やかさの調整が可能
	コンポジット ビデオ入力	RCAピン×1
	Sビデオ入力	ミニDIN 4ピン×1
オーディオ	外部ライン入力	RCAピン(L/R)×各1
キャプチャ※	ビデオ	MPEG-2, MPEG-1
	静止画	BMP(720×480)
電源		DC 5V（パソコンからバスパワー供給）
消費電流（MAX）		490mA
使用温度範囲		+5～+35℃
使用湿度範囲		20～80%（結露なきこと）
サイズ		約102(W)×約27(D)×約85(H)mm ※ 突起物含まず
ケーブル長		約1.8m
質量		約255g

※ オーディオファイルのみのキャプチャはできません。

ビデオキャプチャ時のMPEGファイル

	MPEG-2	MPEG-1(Video CD形式)
ビデオ画素数	720×480, 352×480	352×240
ビデオ ビットレート	3.0～7.2Mbps(VBR)	1090kbps(CBR)
オーディオ ビットレート	MPEG-2 Audio：64～384kbps(VBR) AC-3：32～640kbps(VBR) LPCM：1536kbps	88.2kbps
サンプリング 周波数	MPEG-2 Audio：48kHz AC-3：96kHz LPCM：48kHz	44.1kHz

お問い合わせ

WinDVD Creator 2 について

添付の「WinDVD Creator 2」に関するお問い合わせは、
インタービデオジャパン株式会社で受け付けています。

1 まず、ホームページをご確認ください。

Webページ内の「製品別FAQ」をご覧ください。

製品別FAQ

http://www.intervideo.co.jp/support/s_faq.html

2 それでも解決できない場合は・・・

インタービデオジャパン株式会社　ユーザーサポート係

電話：　横浜　　045-226-3899
※ 受付時間　9:30～12:00　13:30～17:00
月～金曜日
（夏期・年末特定休業日、祝祭日を除く）

FAX ：　横浜　　045-226-3895

インターネット：　http://www.intervideo.co.jp/

E-Mail:　techsupp@intervideo.co.jp

本製品について

本製品に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/ ← **製品Q&A, Newsなど**

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリーから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/ ← **弊社サポートライブラリー**

2 それでも解決できない場合は･･･

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3646** 東京…**03-3254-1036**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号, ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますよう
お願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。
送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の
返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便
小包でお送りください。

送付先
〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる
場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windows,MS,DirectXは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

GV-MDVD 取扱説明書
2004.05.20 149032-02
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.